

3.11 祈りの日



オンライン

2021年3月11日(木)

19:00 より YouTube 動画配信

新型コロナ感染拡大防止の為、今年の
慰霊法要と夜の催しは中止となります。
インターネットにて動画を配信します。
ご自宅のパソコンやスマートフォンより
ご視聴ください。詳細は特設サイトにて



ごあいさつ

東日本大震災から今年で10年。

人に気軽に会うことができず、思うように移動することも難しいコロナ禍が続いています。

そのような時代に生きているからこそ、思うことがあります。

できないことを嘆くよりも、できることを指折り数えていく。

思えば、コロナ禍の1年も、10年前も、その言葉に救われてきました。

今年も、皆様からの「祈りの手紙」に込められた祈りと、鎮魂の詩に耳を傾けて…。

残念ながら福島でお迎えすることはできませんが、福島を訪れることができない方々にも、
海の向こうから日本に向けて祈りを捧げてくださる方々にも、思いをお届けいたします。

YouTube で、お会いしましょう。

出演者・プロフィール



紺野美沙子 (俳優)

1980年、慶応義塾大学在学中にNHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」(原作:谷崎潤一郎)「忠臣蔵」「日本の面影」(作:山田太一)「両国花錦闘士」(原作:岡野玲子)など、硬軟を問わず意欲的に舞台に取り組んでいる。バラエティ番組にも度々出演し、飾らないトークで注目を集めている。1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、カンボジア・パレスチナ他、アジア・アフリカの各国を視察するなど、国際協力の分野でも活動中。2010年秋から「紺野美沙子の朗読座」を主宰。NHKエフエム「音楽遊覧飛行」案内役、元祖スー女としても知られ大相撲有識者会議の一員である。「3.11祈りの日」には今年で4回目の出演となる。



中村由利子 (作曲家 / ピアニスト)

1987年のデビュー以来、ニューエイジミュージックの代表的な作曲家として幅広い層に支持され、TOKYO FM「ジェットストリーム」のテーマ、宮崎駿監督による三鷹の森ジブリ美術館短編アニメーション「星をかった日」など、多方面への楽曲提供も行い、これまでに約 2000曲を作曲し、40枚以上のアルバムをリリース。「風景が見えるようなピアノ」と評されることが多く、作曲センスと柔らかいピアノタッチで多くのファンを魅了し続けている。



和合亮一 (詩人)

1968年福島市生まれ。詩人。中原中也賞、晩翠賞など受賞。新聞各紙にてエッセイ、詩評などを連載。最新刊は現代詩文庫『和合亮一詩集』『続和合亮一詩集』詩集『QQQ』など。震災直後にツイッターにて福島の現状を詩の言葉で伝えた。それをまとめた詩集「詩の磔」が2019年夏にフランスで翻訳・出版され、第一回ニュンク・レビュー・ポエトリー賞を受賞。フランスでの詩集賞の受賞は日本文壇史上初となり、国内外で大きな話題を集めた。近年はインドネシアや台湾、アメリカにて講演を行う。福島県教育復興大使。福島大学応援大使。これまで何度も作品の朗読をしてきた安洞院は和合家の菩提寺であり、墓所には先祖代々が眠っている。

主催：3.11 祈りの日実行委員会 (安洞院内) 共催：未来の祀りふくしま実行委員会 講演：福島市、福島市教育委員会

詳細は特設サイトをご覧ください

<http://311inori.net/>

スマートフォンからはこちら→



手紙を募集しています。

年輪のように、一年一年…

震災から未来へ残してゆくための記録「祈りの手紙」



3.11 祈りの日

オンライン

過去の応募作品

2017年からの全応募作品は
特設サイト上に掲載中です



祈りの手紙とは？

「震災」「未来」「いのち」「ふるさと」のいずれかをテーマとした手紙を募集します。
心に残る、未来に残したい手紙を、俳優の紺野美沙子さんらが朗読いたします。
手紙の相手は、生きている人だけでなく、亡くなった人でも、故郷でも、大切な動物でも。
311の夜に毎年開催してきた朗読会ですが、今年はYouTubeでの公開となります。
ご応募いただいたすべてのお手紙は、この企画がはじまった2017年より全て記録し、
特設サイト上に掲載させていただいております。
皆様の思いに一人一人が耳を傾け、思いを分かち合い、
三月十一日の夜を共に過ごしてまいります。
もしいまあなたが、何か残したいことや、誰かにどうしても伝えたいことがあれば、
私たちのもとへ、お手紙をお寄せください。

手紙の応募要綱

【応募要綱】

募集期間	令和3年2月25日(木) 当日消印有効
テ ー マ	①震災②未来③いのち④ふるさとのいずれかをテーマとしたもの
体 裁	400文字以内(郵送、FAX、メール添付、HPフォームのいずれか)
撰 者	和合亮一(詩人・未来の祀りふくしま発起人)
表 彰	特に心に残る手紙は3.11当日公開の動画にて朗読いたします
受 賞	該当作品数点 賞状ならびに記念品贈呈

【記入事項】

- ①氏名 ②年齢 ③メールアドレス(メール以外の方は不要です)
④郵便番号 ⑤住所(マンション名まで含む) ⑥手紙の相手は誰ですか？
⑦手紙のタイトル(無い場合は「無題」となります) ⑧手紙文面(400文字以内)
⑨匿名希望の方はペンネーム

【送付先】

- ◆郵送 〒960-8202 福島市山口字寺前5 安洞院「祈りの手紙」係
◆メール tegami@311inori.net ※ワードファイルなどで添付
◆FAX 024-533-6785

【諸注意】ご応募前に必ずご確認ください。

- 応募作品は当ウェブサイトのコンテンツとして掲載します。また、今後の展示や冊子等の各種媒体に掲載される場合があります。応募の時点で内容の公表に同意したものとみなします。
●未発表のものに限ります。過去に類似のものに応募された作品や、SNS等に公開されたものは応募できません。
●応募された作品の著作権を含む著作権のすべては当実行委員会(宗教法人安洞院)に帰属し、応募された作品は返却できません。
●郵送の書式は問いません。ハガキ、手紙、原稿用紙、いずれでも結構です。
●メールの場合は本文・添付文書いずれかをお願いします(ワード、一太郎等。その他ソフトはご相談ください)

選ばれた心に残るお手紙は
俳優の紺野美沙子さんらが朗読し
YouTubeの動画として配信します



2/25
締切



手紙応募フォーム

「祈りの手紙」の詳細・ご応募は <http://311inori.net/> / TEL024-534-0939 (安洞院)